

パネルディスカッション 9：在宅介護の継続と充実のために

～利用者の生活支援のための多職種連携の在り方～

演題名	訪問看護師と介護職の連携について ～定期巡回訪問介護看護を開設して思うこと～
------------	---

概要

地域包括ケアの実現のため、訪問看護師と介護職との連携をどのように進めたらよいだろうか？

訪問看護とホームヘルパーは、在宅で生活しておられる方の自宅に訪問し、実際の生活に沿って支援することから、業務内容が被っていることが多い。しかし、健康面からの視点で生活を看る看護師と、快適な生活の提供を目的にする介護職が、情報交換する場面は少ない。ケアプラン上も時間が重ならないように計画されることがほとんどで、体調の変化など特別なことが無い限り連絡はなく、ノートや電話での情報交換が主である。ケア会議の開催は少ない。それぞれの専門性の違いや視点の違いを活かし、効率的で効果的に支援するためには両者がどのように連携したらよいのだろうか？

平成 25 年 8 月に、定期巡回随時対応訪問介護看護の事業を開始し、介護職と協同して利用者の支援を行うようになったこともあり、有機的に連携して生活を支援するには、どうしたらよいのか試行錯誤している。①現状の把握と連携の困難さ問題点。②日々の業務の中で効果的に情報交換を行うには、どのような方法があるか。③よりよい生活を支援するための効果的・効率的な連携の方法 について検討したので報告したい。